



松林小だより

平成31年2月28日
学校便り No.14
羽村市立松林小学校

東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

有終の美を飾ろう！

～大きく成長した1年間を締めくくる3月～

校長 瀬戸 隆幸

立春の前後から、全国的にインフルエンザが流行しました。その頃から、羽村市内の小・中学校でもインフルエンザによる学級閉鎖が多数報告されていました。しかし、松林小では1クラスも学級閉鎖をすることがありませんでした。これは、ひとえにご家庭での健康管理のおかげだと感謝しております。ありがとうございました。「三寒四温」を繰り返しながら春が訪れると言われますが、まさにその通り。春の訪れを感じさせる暖かい日と冬の厳しい寒さに逆戻りしたような日を繰り返しています。こんな季節は体調を崩しやすいものです。引き続きご家庭での健康管理をよろしくお願いいたします。

飼育小屋の前にある鉢植えのチューリップの芽も大きくなってきました。1年生が世話をしている鉢植えのチューリップです。寒い中でもしっかり生長しています。4月に新1年生が入学する頃には、きっと色とりどりの美しい花を咲かせてくれることでしょう。

早いもので今年度も最後の月を迎えました。同じクラスの仲間や先生方と一緒に勉強できる時間も少なくなってきました。1年生にとっては、国語・算数・生活・音楽・図工・体育など、いろいろな勉強、校外学習・運動会・音楽発表会などの行事、何もかもが初めて体験する1年間でした。友達に励ましてもらったり、先生に褒めてもらったり、お家の人に認めてもらったりして、小さな成功体験を積み重ねながら、自分一人のできることをたくさん増やしてきました。褒められ、認められ、任されることで自分に自信が生まれ、信頼の眼差しで見つめられることにより安心して学校生活を送っている様子を頼もしく感じました。小学生時代は、言葉の指示による学びよりも体験から学ぶことのほうが多いものです。先生・親・友達の言葉遣いや行動をよく見て、真似することから学んでいる姿を見かけることが多くありました。まさに「学びは真似することから始まる」のだと実感しました。1年生だけではなく他の学年の子供たちも、仲間と共に様々な体験活動を通じて、心（気力）・体（体力）・頭（学力）をしっかり鍛え、ゆっくり着実に成長を続けています。明るく、元気よく、いつも頑張っています。「**よ** **い** **こ**」がつくる美しい学校」には、「一人の十歩より、十人の一歩」が大切だと考えています。残り1か月、クラスの仲間と共に悔いのない毎日を過ごしてほしいと思います。

春の訪れは、別れの季節でもあります。6年生は、卒業式に向けての練習が始まります。たくさんの思い出ができた松林小学校との別れ、中学生になる期待や不安、各自が様々な思いを感じながら、卒業式を迎えるまでの間、松林小学校の仲間と共に生活できる時間を有意義に過ごし、1年生から5年生までの後輩達に素晴らしい松林小学校の伝統を引き継ぎ、最後の締めくくりをしっかりと行って「有終の美」を飾って欲しいと思います。